


# 令和4年度指定管理者運営状況検証シート

令和5年3月31日現在

## 1 施設名等

施設名 (設置年月日)	えひめ森林公園 (昭和59年7月)	所在地 愛媛県伊予市上三谷	電話 089-983-3069	HP <a href="https://ehime-sinrinkouen.com/">https://ehime-sinrinkouen.com/</a>
県所管課	森林整備課	指定管理者の名称	愛媛県森林組合連合会	
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	利用料金制	あり	○ なし

## 2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	県民の森林に対する理解を深めるとともに、その保健及び休養に資する。	施設の外観																
施設内容	管理棟・森林学習展示館、フィールドアスレチック、キャンプ場(18サイト)、バンガロー(2棟)、結のプランコ、ツリーハウス、キャンピーウォーク、みのむしベンチ、実習用苗畑、県民参加の森、樹木園、山菜栽培園、きのご栽培園、昆虫観察飼育施設、自然観察道、野鳥観察小屋、駐車場(158台)、公衆便所、造成森林 ほか																	
指定管理者が行う業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>森林公園の業務の実施に関すること。</li> <li>森林公園の利用の許可(「県民参加の森」以外の施設に限る。)に関すること。</li> <li>森林公園の利用の促進に関すること。</li> <li>森林公園の施設、附属設備及び備品(以下「施設等」という。)の維持管理に関すること。</li> <li>その他知事が定める業務</li> </ul>																	
施設の管理体制	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">常勤</th> <th colspan="3">非常勤</th> </tr> <tr> <th>園長</th> <th>主任</th> <th>事務補助</th> <th>嘱託</th> <th>作業員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> </tbody> </table>	常勤		非常勤			園長	主任	事務補助	嘱託	作業員	1名	2名	1名	2名	3名		
常勤		非常勤																
園長	主任	事務補助	嘱託	作業員														
1名	2名	1名	2名	3名														

## 3 検証のための指標の推移

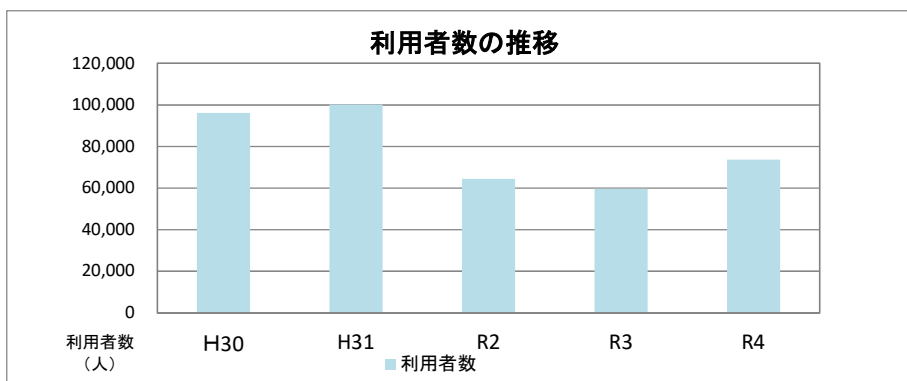
### (1) 利用者数

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	96,175 人	100,150 人	64,353 人	59,608 人	73,719 人

### (2) 収支状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
収入(A)	23,240 千円	23,743 千円	23,743 千円	23,743 千円	23,743 千円
委託料	23,240 千円	23,743 千円	23,743 千円	23,743 千円	23,743 千円
委託料(補正額)※	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
利用料金収入	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
その他収入	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
支出(B)	25,306 千円	24,682 千円	23,768 千円	23,755 千円	23,804 千円
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円
維持管理費	14,437 千円	13,665 千円	11,196 千円	11,469 千円	12,360 千円
人件費	10,573 千円	10,725 千円	12,272 千円	11,966 千円	11,129 千円
その他支出	296 千円	292 千円	300 千円	320 千円	315 千円
収支(A) - (B)	▲ 2,066 千円	▲ 939 千円	▲ 25 千円	▲ 12 千円	▲ 61 千円

(※) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

- ・夏季のナイトキャンプの件数によって、夜間警備に要する経費が増減した。(令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設の利用制限等を行っており、件数も減少している。)
- ・降雨等の天候条件によって、修繕に要する経費が増減した。

#### 4 管理運営の評価

##### (1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
<p>キャンプ場やフィールドアスレチック利用者は元より、園内散策の方々にもパンフレットや園内マップを用いて丁寧な対応・案内に努めるとともに、新型コロナウイルス対策に留意しつつ、自主イベントの開催や学校等各種団体が実施するイベント等への技術指導を行った。</p> <p>また、来園者の利便性向上のため、園内各所に分かりやすい案内看板や休憩用の木製ベンチを製作・設置するほか、自転車やバイク専用の駐輪場を造成した。</p>	<p>来園者の利便性向上を図るために何が必要かを検討し、地道に改善を行っている。</p> <p>木製ベンチや案内看板、駐輪場は指定管理者自身が製作・設置を行うことで、経費削減にも努めている。</p> <p>子どもに対しては、園内で採取できる素材を利用したおもちゃを提供するなど、森林とのふれあいを推進している。</p>	A

##### (2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
<p>仕様書等で示されている基準に沿って、適時に保守点検、清掃、除草、剪定等の維持管理業務を行った。</p> <p>また、フィールドアスレチックや遊歩道周辺の危険木や転石等は発見次第直ちに除去するとともに、スズメバチ駆除やイノシシの捕獲要請などを行い、来園者の安全確保を第一とした安全管理に努めた。</p>	<p>仕様書等で示している基準のほか、危険な動植物について注意を払うなど、来園者の安全を確保する維持管理を行っている。</p> <p>特に、遊歩道など利用頻度が高い箇所を中心に、適時適切に点検、整備がなされている。</p>	A

##### (3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

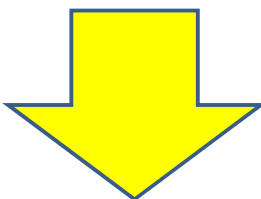
指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
<p>アンケート調査を実施し、セルフモニタリングを行った結果、利用者の86%が「満足」「普通」を含めると98%と回答、さらに99%の方には「また来たい」と回答をいただいている。</p> <p>なお、アンケートで得られた要望や来園者からの意見については、内容が軽微なものには必要に応じて県所管課と協議しながら速やかな対応に努めており、施設改修を伴うなどの重要な案件については県に随時報告の上、可能なものから対応を依頼している。</p>	<p>セルフモニタリングにより来園者の評価及び要望を把握し、県所管課と密な連携をとって、満足度の向上に努めている。</p>	B

##### (4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評 価
<p>ホームページを利用して、行事予定やキャンプ場等施設利用に関する情報発信を適宜行うほか、フリーペーパーやインスタグラムなど多様なツールを活用して、公園の魅力を広く発信した。</p> <p>また、「とべもり」の3施設と連携協力して、お互いのイベント情報等を来園者に発信した。</p>	<p>リニューアルしたHPを活用し、来園者に施設情報を発信している。</p> <p>四季折々の自然が楽しめる森林公園であることから、公園の魅力やオススメについて、指定管理者の目線で、今以上の細やかな発信に期待したい。</p>	B

#### 【評価基準】

- S・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- A・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



##### (5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
<p>新型コロナウイルス感染症の影響を受けて来園者数が減少していたが、適切な感染対策や来園者の利便性向上に努めることで、回復を図っている。</p> <p>専門的なノウハウと森林公園という環境を活かして、維持管理で生じる木材を利用した施設整備を行い、統一感のある整備と経費削減ができており、指定管理者制度導入の効果が出ている。</p> <p>利用料金等の収入がない中で、可能な限りのイベント事業や維持管理、サービス向上への取組みが行われており、今後、利用料金制の導入により、一層の取組みが期待される。</p> <p>今後は、「とべもり+（プラス）」としての連携イベントも多くなることから、情報の発信と利用者増加に向けた事業運営が必要となる。</p>